

生涯学習情報紙

3月号



第255号 発行：大和村教育委員会事務局・中央公民館



シマ(集落)の宝を【奄美遺産】へ

～ワキヤシマ(集落)に誇りたいものはありませんか？～

私達の住むシマ(集落)には、数十年、数百年続く地域の行事や工芸、忘れられている自然との生業など、古いものから新しいものまで、気が付けば身近に気になる文化的な遺産(指定・未指定問わず)があります。奄美群島文化財保護対策連絡協議会では、その中から奄美群島で大事にしたいものを『奄美遺産』として登録し、次の世代に伝え、守っていくと共に、観光や地域づくりに活かす取り組みを群島の皆さんとともに進めています。

各市町村でこれからも推薦された文化財・文化遺産を奄美遺産に認定していきます。



今里の立神(奄美遺産候補)

大和っ子スクール「黒砂糖作り体験」開催

平成27年2月14日(土)に大和まほろば館・大和実証農園で大和っ子スクール「黒砂糖作り体験」を開催しました。村内小学校・中学校から22名の参加があり、サトウキビ発祥地である大和村の郷土歴史を学び、サトウキビ伝来等の講話、収穫体験、黒砂糖作りを行いました。講師の奥田敏光さん(大和集落)が指導する黒砂糖になる工程では、煮詰まった汁を急いでしゃもじでかき混ぜる作業を熱心に行いました。そして、できたての黒砂糖を食べると「甘い、美味しい」の歓声が上がりました。「サトウキビの収穫体験でサトウキビの栽培法が分かった。」「収穫したてのサトウキビを一人一人に渡された事が楽しかった。」等の感想がありました。今後もこのような体験学習を計画して行きたいと思います。



サトウキビ絞り体験



サトウキビ収穫体験



サトウキビ伝来講話



黒砂糖作り体験

平成26年度 鹿児島県PTA活動研究委嘱公開開催

平成27年2月7日(土)大和村体育館にて鹿児島県PTA活動研究委嘱公開大和村大会が開催されました。『心豊かな大和っ子を育成するためのPTA活動はどうあればよいか。』～学校・家庭・地域と連携したPTA活動の活性化を通して～を研究主題に村内の3PTAの代表が事例発表を行いました。今里小学校PTAの今里親子留学での特色ある取組や名音小学校の地域の人材を生かした伝統行事の取組などがあり、児童生徒の減少に伴いPTA会員が少なくなる中、PTAの組織を工夫したりしながら、地域と学校・PTAが連携を図りながら活動を行っていくことの大切さについての発表がありました。大和中学校PTAでは、学校統合からの新たなPTA組織で生徒の健全育成のため、何ができるか模索しながら取り組んだ様々な活動についての発表がありました。さらに、KTSのタマリ氏による「人間大好き」と題しての講演は、タマリさん自身がPTAの役員を経験し、子どもとの接し方で優しい言葉を少し加える事の大切さをユーモアを交えて話されました。



KTSのタマリ氏の講演



事例発表

平成26年度 大和村公民館講座合同閉講式

平成27年2月22日(日)大和村公民館にて第38回大和村公民館講座合同閉講式が開催されました。式典での、「公民館の歌」「大和村民歌」はコーラス教室の生演奏で始まりました。今年度は、20の講座に215名の方が受講され、29名の精勤賞、132名に修了書が授けられました。また、公民館の本を45冊以上借りた村内の28名の児童生徒に読書賞を授与しました。平成26年度、講座生の皆様には公民館建設中でもあり、各地区の公民館での受講で、不便をお掛けしました。来年度の閉講式は新しい公民館で成果を披露できると思います。昨年、講座の島唄教室の講師をされていた浜川昇先生がお亡くなりになりました。先生の御功績を偲び、浜川先生の御冥福をお祈りいたします。



舞台発表



講座生作品展示

シマの方言(シマユムタ)

・寂しい時に使います。
(各集落でイントネーションが変わります)
「トゥディンナサ」＝寂しい
「クワが卒業するとトゥディンナサや」＝子どもが卒業すると寂しいね！

毎月19日は『育児の日』、第3土曜日は『青少年育成の日』、第3日曜日は『家庭の日』